

人民币週間レポート

2024年12月20日発行

みずほ銀行（中国）有限公司
中国為替資金部

MIZUHO

瑞穗銀行

【人民元為替概況】

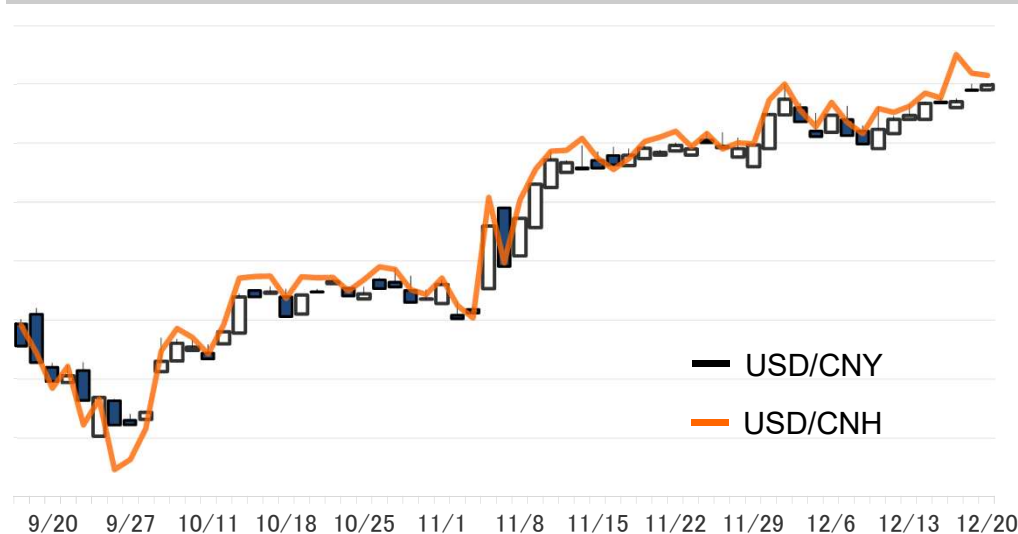
回顧: USDCNYは底堅い推移を継続

- ドル人民元(USDCNY)は16日、7.27台半ばでオープン。FOMCを控えて値幅が限定的となる中、ドットチャートの上方修正等、FEDのタカ派傾斜への警戒感や中国債利回りの低下等を背景にUSDCNYはじり高で推移。18日、タカ派なFOMC結果による米金利上昇、ドル高を受けて、翌19日には一時7.2999まで上昇し年初来高値を更新した。20日、正午時点では7.29台後半で推移している。
- 円人民元(JPYCNY)は16日、4.73近辺でオープン。FOMC及び日銀を控えてレンジ推移が続いた後、18日のタカ派なFOMC結果、19日の日銀会合後のハト派な植田総裁会見を経てUSDJPYが大きく上昇。USDJPYが157円台後半へ上値を伸ばす中でJPYCNYは一時4.62台前半まで下落した。一巡後の20日正午時点では4.64台で推移している。

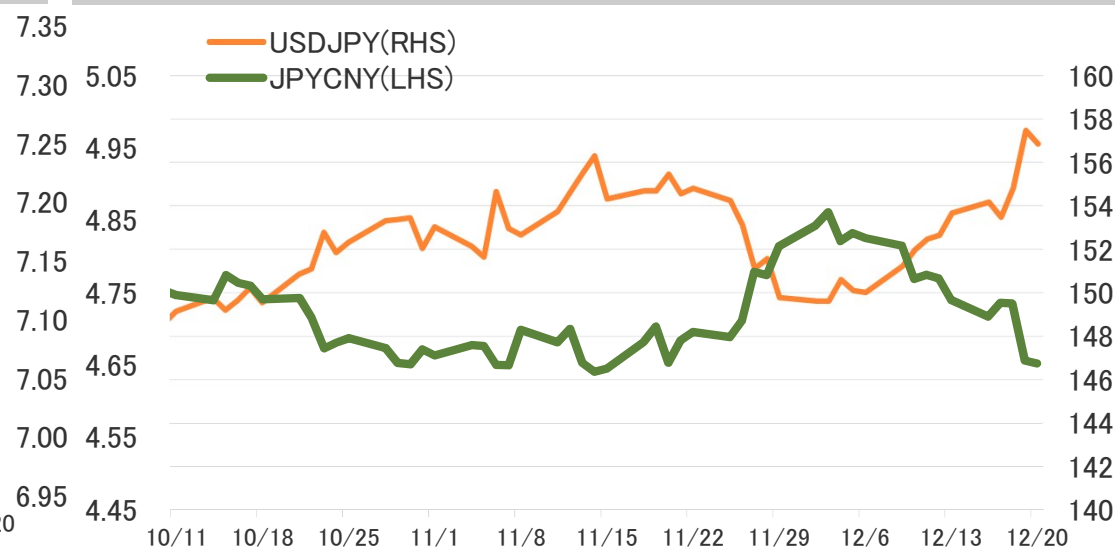
見通し: USDCNYは底堅い推移継続も上値は限定的

- 12月FOMCでは25bpの利下げが決定された一方、内容はタカ派的となった。ドットチャートは9月から上方修正され、25・26年末は+50bp、27年末は+25bpとなり、パウエル議長会見においては「利下げを継続する方向にある」としつつも、インフレ高止まりへの懸念から「追加調整を検討する上で慎重になることが可能」として利下げペース減速が示唆される形となった。20日公表のLPRは据え置きとなったが、中央経済工作会议にて示された“適度に緩和的な”金融政策方針を背景に利下げ期待が残存する中で米中金利差は拡大、引き続きUSDCNYの下値をサポートする要因になると想定される。
- PBOCは反循環的な仲値調整を維持していることから、足元のUSDCNYの上値は限定的と考えられるものの、引き続き当局動向にも留意する時間帯が継続するとみられる。

USD/CNY, USD/CNH Spot Rate



JPY/CNY, USD/JPY Spot Rate



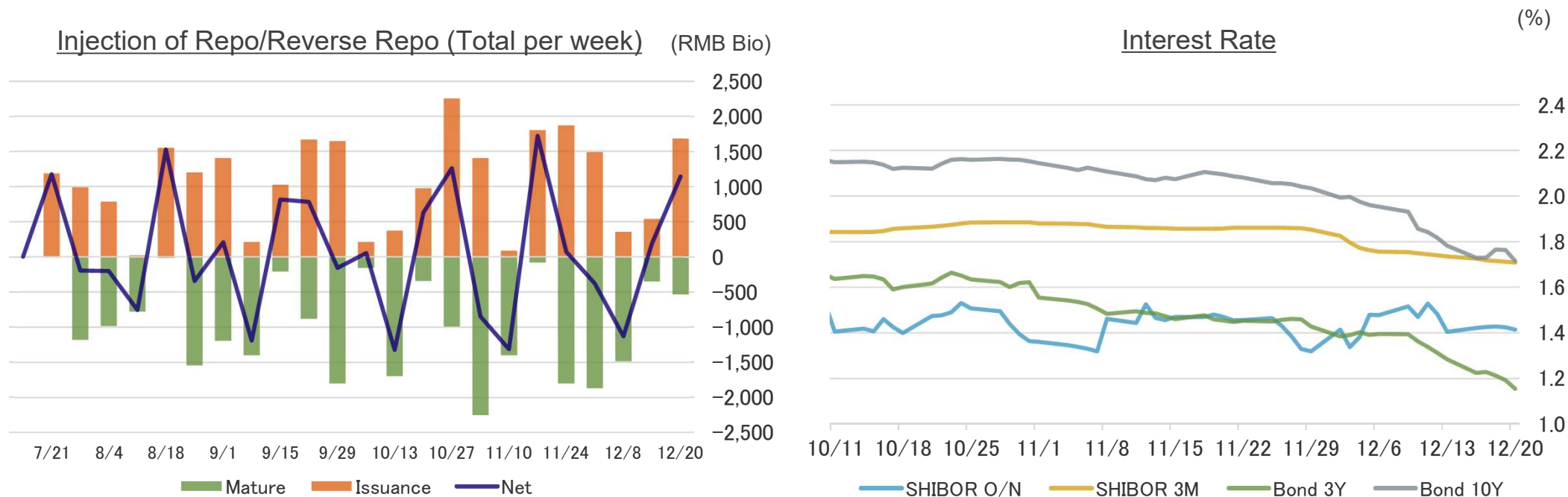
【人民元金利概況】

回顧: 週後半にかけて資金流動性は改善

- PBOCは7日物リバースレポにより16,783億元の資金供給を実施。満期到来分とネットで11,398億元の資金供給となった。また、16日に14,500億元のMLF1年物が満期を迎えた。その他、20日に公表されたLPRは据え置き(1年物:3.10%、5年物:3.60%)となった。
- 資金市場では、週前半は短期資金流動性のタイトな状況が続いたが、PBOCによるNet資金供給が続くと週後半にかけては徐々に流動性に改善が見られた。
- 債券市場では、前週の中央経済工作会議において金融緩和の方針が示されたことに加え、足許公表された経済指標が総じて市場予想を下回る低調な結果となったことなどを背景に金融緩和観測が強まる中、金利低下地合いが継続。特に短期ゾーンについては、資金流動性の改善等を受け一段金利低下。

見通し: 引き続き当局動向に注目

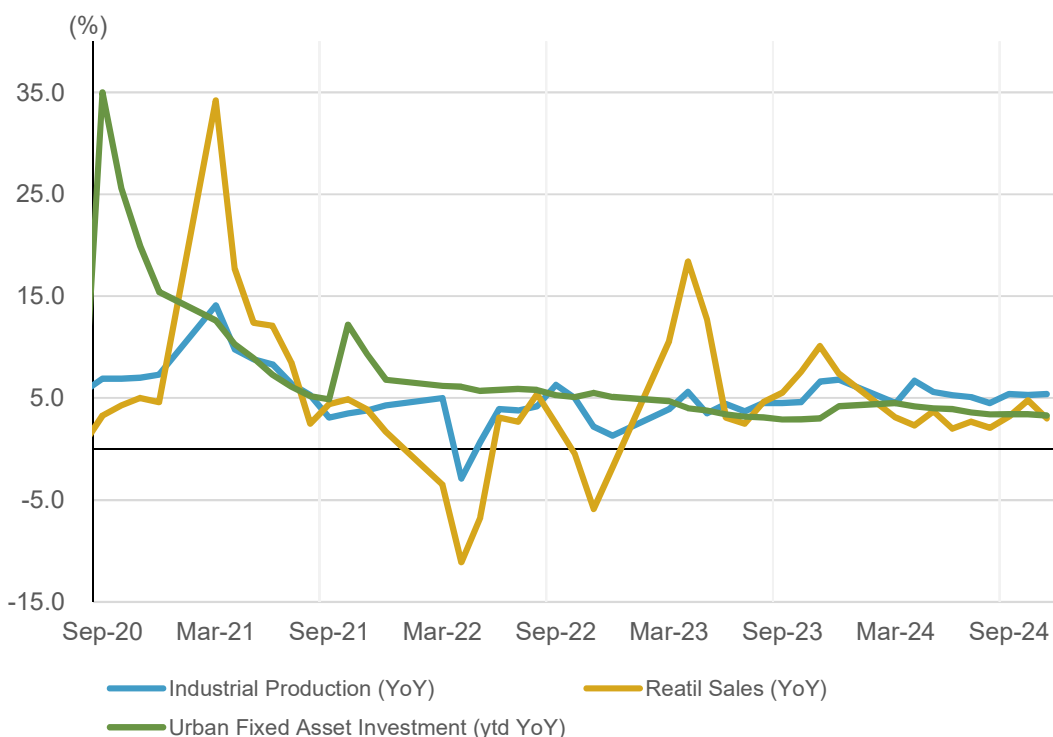
- 15日に発表された11月の中国主要統計では小売売上高の軟化が示され、先日の中央経済工作会議で示された消費拡大対策への期待感を醸成する形となった。3月の全人代に向けて当局動向には留意しておきたい。
- 20日に公表されたLPRは据え置きとなったが、追加利下げ期待が高まる中で人民元金利については低下圧力がかかる地合いがメインシナリオ。他方、一部国内報道機関より、債券市場における過激な取引に関与する金融機関に対し聴取を実施、との報道が見られており、急激に相場が反転する可能性にも留意致したい。



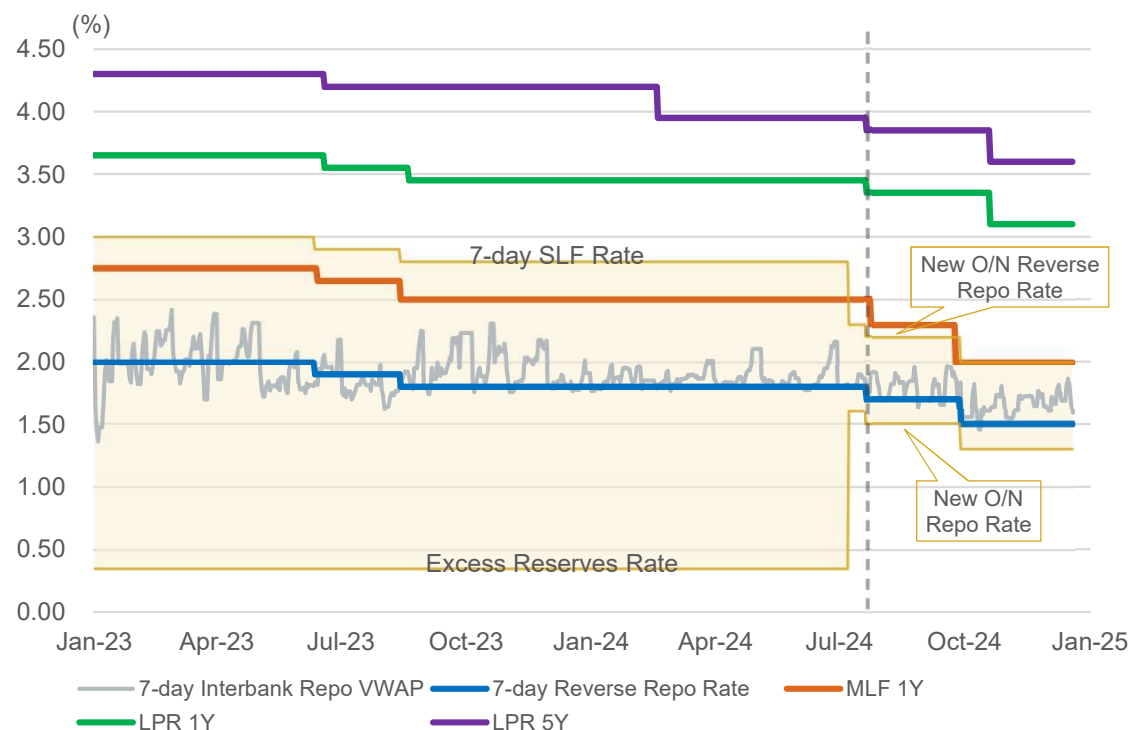
【TOPICS】 11月主要経済指標が公表

- 12月15日、国家統計局は11月国内主要統計の結果を公表。小売売上高が前年同月比+3.0%（予想：+5.0%、前回：+4.8%）、鉱工業生産が同+5.4%（予想：+5.4%、前回：+5.3%）、都市部固定資産投資が年初来前年比+3.3%（予想：+3.5%、前回：+3.4%）となった。
- 小売売上高の軟化は内需回復の弱さを示す結果となり、先日の中央経済工作会議（12月11-12日）にて示された2025年重点政策の筆頭項目として示された消費拡大に向けた対策へさらに期待感が高まる形となった。また、鉱工業生産は小幅な改善を示しているものの、次期米トランプ政権による通商政策を警戒した前倒しの動きも背景にあると想定され、依然として景気先行きの不透明感が漂っている状況に大きな変化はない。
- 中央経済工作会議における政策の基本方針として、上記のような内需拡大施策を踏まえた積極的な財政政策と、“適度に緩和的な”金融政策方針が示された。12月20日に発表されたLPRは1年物、5年物ともに据え置きとなったが、示された金融政策方針に従い追加的な利下げ可能性も高まる中、引き続き当局動向には留意しておきたい。

小売売上高・工業生産・都市部固定資産投資



リバースレポレート・LPR・MLFの推移



【マーケットデータ】

【USDCNY Daily】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	PBOC FIXING
12/16	7.2700	7.2850	7.2700	7.2822	7.1882
12/17	7.2850	7.2878	7.2756	7.2840	7.1891
12/18	7.2801	7.2875	7.2800	7.2856	7.1880
12/19	7.2949	7.2999	7.2946	7.2992	7.1911
12/20	7.2950	7.2995	7.2900	7.2985	7.1901

【USDCNH Daily (Reference value from Bloomberg)】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	Fixing*
12/16	7.2814	7.2950	7.2764	7.2923	7.2871
12/17	7.2923	7.2963	7.2851	7.2881	7.2920
12/18	7.2881	7.3259	7.2842	7.3249	7.2903
12/19	7.3250	7.3269	7.3053	7.3091	7.3109
12/20	7.3091	7.3140	7.3022	7.3071	7.3085

*CNH (HK) Fixing published at 11:15 A.M. by Hong Kong Treasury Markets Association

【SHIBOR FIXING(%)】

	12/16	LOW	HIGH	12/20
ON	1.4210	1.4140	~	1.4280
1M	1.7080	1.7000	~	1.7080
3M	1.7250	1.7080	~	1.7250
6M	1.7330	1.7170	~	1.7330
1Y	1.7600	1.7400	~	1.7400

【CNY MARKET Weekly】

	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE
USD/CNY	7.2700	7.2999	7.2700	7.2985
100JPY/CNY	4.7317	4.7507	4.6349	4.6522
EUR/CNY	7.6489	7.6667	7.5526	7.5866
HKD/CNY	0.93549	0.93963	0.93549	0.93930
GBP/CNY	9.1974	9.2578	9.1065	9.1298

【MAJOR CURRENCY Weekly (Reference value from Bloomberg)】

	OPEN(TKY6:00)	HIGH	LOW	Thursday CLOSE
USD/JPY	153.62	157.93	153.16	157.44
EUR/USD	1.0495	1.0534	1.0343	1.0363
EUR/JPY	161.14	163.80	159.82	163.14
GBP/USD	1.2616	1.2729	1.2476	1.2502
AUD/USD	0.6361	0.6383	0.6199	0.6239

(数据来源: Bloomberg)

ご留意事項

・本資料に関するご照会先

- 当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。
- ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。
- 投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。
- また、当資料の著作権はみずほ銀行及びみずほ銀行（中国）に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。
- 本資料中の括弧書きで引用された出所元の文または文章の内容に含まれるまたは解釈される可能性のある意見や論評は、括弧書きの末尾に記載の出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではありません。

本資料に関するご照会先：

みずほ銀行（中国）有限公司 中国為替資金部 カスタマーチーム
(Tel:86-21-3855-8888 Ex:1320～1329 & 1371～1378)

MIZUHO

瑞穗銀行